

福島駅前交流・集客拠点施設設計アドバイザー業務委託公募型プロポーザル審査講評

【審査講評】

福島駅東口地区市街地再開発組合が進める福島駅東口地区第一種市街地再開発事業において、福島市は、中心市街地における交流・集客の核として、人を集め、人の流れをつくる街なか再生の起爆剤として重要な役割を担う新たな交流・集客拠点施設を整備することとしている。

本業務は、「東口再開発の見直し方針」に基づき、再開発組合及び再開発組合が契約する設計業者が行う本施設の設計見直し（基本設計レベルを想定）に際し、利用者にとって利用価値や満足度を高められ、管理運営者にとって催事等を誘致しやすく施設の稼働を高めるなど経営に資する施設とするため、設計に関する提案・助言を求めるものであり、専門的な知見やアイデアに基づき本業務を担える優れた者を選定する必要があることから公募型プロポーザルを実施することとした。

本プロポーザルには、募集に対して3者から参加表明があり、適格であることを確認したうえで、全3者より企画提案書等の提出を受けた。

プレゼンテーション審査は、令和6年8月5日に実施し、各者からの企画提案等の説明と質疑を行った。その後、審査会を開催し、プレゼンテーション要請者は匿名のまま審査を行った。審査は、プレゼンテーション及び質疑を踏まえ、各者の企画提案等について意見交換を行うことで議論を尽くし、各審査委員が評価項目ごとに採点を行った。

集計結果を確認したうえで、下記のとおり福島市に結果を報告することとした。

本プロポーザルにおける企画提案内容はもとより、業務開始後においても様々な関係者とコミュニケーションが図られ、市と受託者が密に連携を図りながら業務が遂行されるよう期待する。

本プロポーザル募集趣旨をご理解いただき、真摯な提案がなされたことに対し敬意を表し、本プロポーザルにご参加いただいた皆様に感謝申し上げます、講評とする。

令和6年8月9日

福島駅前交流・集客拠点施設設計アドバイザー業務委託受託者選定審査会

【各提案に対する講評】

◎最優秀者

ヒアリング番号：３番

全体的に「東口再開発の見直し方針」を踏まえた具体的な提案がなされており、「実現を目指す１２のシーン」についても十分に分析されていた。

本施設が最大限効果的・効率的に活用されるための工夫において、コンベンション利用とイベント利用を中心に、催事の開催及び誘致を見据えた提案がなされたことはもとより、まちに開かれ融合する施設とするための工夫に関し、日常的な利用を促進するため、施設機能ごとに、プレイヤーやユーザーの活動イメージを合わせて提案するなど、市の現況に理解が見られた点が評価へとつながった。

また、その他独自提案について、ネットワークを活かした独自性のある提案がなされていた。

今後については、提案された事項について、確実に遂行されることを期待する。

平均順位 1.29 位

○次点者

ヒアリング番号：２番

「実現を目指す１２のシーン」を踏まえ、企画提案書が分かりやすくまとめられており、本業務に対する理解と取組意欲が伝わった。

特に、本施設が最大限効果的・効率的に活用されるための工夫においては、チェックすべきポイントが具体的で説得力があるとともに、特にコンベンションや興行イベントに関する深い知見が感じられた。また、本施設の将来の維持管理コストを意識した提案がなされており、経営を重視した提案内容であった。

一方で、まちに開かれ融合する施設とするための工夫においては、着眼点は整理されているものの、日常的な利用促進に関する具体性について評価が分かれる結果となった。

平均順位 2.29 位

●非選定者

ヒアリング番号：1 番

全体的に、MICE の企画運営よりも街なかの交流やにぎわい創出に主眼を置きながら、MICE と市民利用のバランスを意識した提案がなされていた。

本施設が最大限効果的・効率的に活用されるための工夫においては、対立が想定される要件の整理や、漏れや無駄のない設計とするための論点整理がなされていた。

また、まちに開かれ融合する施設とするための工夫においては、エリアブランドの構築・発信も含めた提案がなされており、評価へつながった。

一方で、全体を通して、市の現況を踏まえた具体的な提案がやや少なく、一般論として受け止められる内容が散見された。

平均順位 2.43 位